

平成 21 年度 (社)静岡県臨床衛生検査技師会 第 6 回理事会議事録

日 時：平成 22 年 3 月 13 日 (土) 午前 10 時 00 分～12 時 00 分

場 所：(社) 静岡県臨床衛生検査技師会 事務所

出席者：泉 正和 松川昭宏 藤原 誠 上林寛司 横地常広 伊藤喜章
齋藤辰男 榛葉智之 高橋 篤 高島吉則 川原教次 豊田次郎
堀井靖久 杉山八寿子 村松宗子 山口 賢

欠席者：片瀬史郎 佐野克典

次期理事出席者：

三宅和秀 松岡敏彦 勝又俊郎 海野和浩 宇治川昌克 池ヶ谷やす代
栗原五美

次期理事欠席者

釋 悦子 原田 勉

議長及び議事録署名人選出

議長 泉 正和
議事録署名人 豊田次郎 川原教次
書記 高橋 篤

I. 報告事項

1. 中臨技理事会報告 (泉 会長)

- ・開催日時：平成 22 年 2 月 20 日 12 時 40 分～16 時 00 分
- ・開催会場：愛臨技事務所
- ・出席者：泉会長 松川副会長

【中臨技理事会】

- ① プロモーションコード地区説明会報告
所 嘉朗 (愛知県) と高木義弘 (日臨技) の 2 名が参加した。
- ② 第 49 回中部医学検査学会報告 (石川)
例年より 1 ヶ月早い 9 月 18～19 日開催のため、一般演題が 4 月 1 日～5 月 15 日である。一般演題は、100 題前後を予定している。
- ③ その他
医療安全全国共同行動の参加団体・協力団体に日臨技が加わった。
日臨技に先駆け、静臨技が昨年グランシップにて行われた医療安全フォーラムにて参加していた。
- ④ 次期理事構成について
特に変更はない為、従来通り 6 月の理事会で最終決定する。
- ⑤ 地区理事及び各県技師会提案事項について
1) 岸理事より「会計・合同例会に関する申し合わせ事項」

- 梶山理事より「中臨技研究班の口座開設について」の資料説明があった。
- 2) 研究班用口座の開設を検討する。中部 6 県での利用を考えると、郵貯銀行が良いのではないか。— 中臨技事務局で調査し、メール連絡する。
 - 3) 源泉徴収は自己申請（日臨技方式）とし、支払調書を発行する。
 - 4) 2 県以上の合同開催は次回までに各県で協議する。

尚、本理事会で意見交換した結果は、以下の通りである。

- 【1】 各県の共催事業とする。
- 【2】 実務委員の行動費と交通費は所属県負担とする。
- 【3】 研修会に関わる費用、企画費用は、開催県とし会計処理する。
- 【4】 参加者の条件（参加費等）は同一とし、受益者負担とする。
- 【5】 開催場所と開催県が違う場合でも、1 から 3 の条件で行う。

【地区連絡協議会】

① 地区理事報告、日臨技報告、各種委員会報告

- 1) 梶山地区理事より資料説明があった。
- 2) 来年度は、公益事業の見直しで共催事業（費用分担）がない。
- 3) 公益取得については、まだ決定していない。

② 日臨技への要望

討議の結果、中部 6 県として 3 月の総会で以下の 3 点を要望する事とした。

- 【1】 中部 6 県は「日臨技は、検査技師の職能団体として公益団体であるべきである」と考え、早急な公益法人の取得を望む。（各県への影響も考えて）
- 【2】 定款等の早急な公開を望む。
- 【3】 精度管理事業と標準化事業は年単位で行う事業である。これら进行处理するソフトの更新が検討されているが、日臨技での利用価値も高く早急に完成させることを望む。

③ その他

- 1) 教育システムを踏まえて、日臨技の学術・検査研究部門を見直すべきではないかとの意見があった。
- 2) 支部化になった時、現在の中中部地区をどうするかは持ち越し課題とする。
- 3) 施設認証は、4 月から試行を含めて始めると思う。各県の対応を準備して欲しい。

中臨技研究班研修会 会計・合同例会に関する申し合わせ事項（案）に関しては理事会資料を参照。今後、静臨技理事会でも検討していく。

2. 臨床工学会からの後援名義使用について （斎藤事務局長）

3月1日付で臨床工学士会からの後援名義使用依頼について使用許可を回答した。

3. その他

- ・日本輸血細胞学会より受講者の推薦依頼について、島田市立病院の亀山先生を推薦した。（斎藤事務局長）
- ・静岡県厚生部より保健文化賞の推薦依頼について該当者なしと回答した。（高島副会長）

II. 議題（審議事項）

1. 前回議事録確認

《承認された》

2. 平成22年・23年度学術部関連委員について

平成22・23年度 臨床検査精度管理委員会実務委員

平成22・23年度 静岡県臨床検査データ標準化委員会委員

平成22・23年度 静岡県医師会臨床検査精度管理委員会委員

平成22・23年度 静臨技研究班役員

《承認された》

3. 次期担当理事について

会 長 横地 常弘

副会長（組織） 山口 賢

副会長（広報） 高島 吉則

副会長（学術） 上林 寛司

常務理事（広報） 松川 昭宏

常務理事（組織） 三宅 和秀

常務理事（学術） 松岡 敏彦

その他の理事の部局については、今後会長の構想により順次決定していく。

《事業の引継ぎに伴い上記の役職を仮決定した》

4. 各部局の引継ぎについて

必要に応じて今後引き継ぎを行っていく。

5. その他

- ・ 事務所事務員（杉本さん）の扱いについて

東海道シグマ社とは4月に契約更新をするが、今後は静臨技の非常勤職員として採用する方針を決定した。ただし雇用条件等の詳細を検討していく。